

# 2006年7月期 中間決算説明会

包装システムの市場創造型トータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

---

# 目次

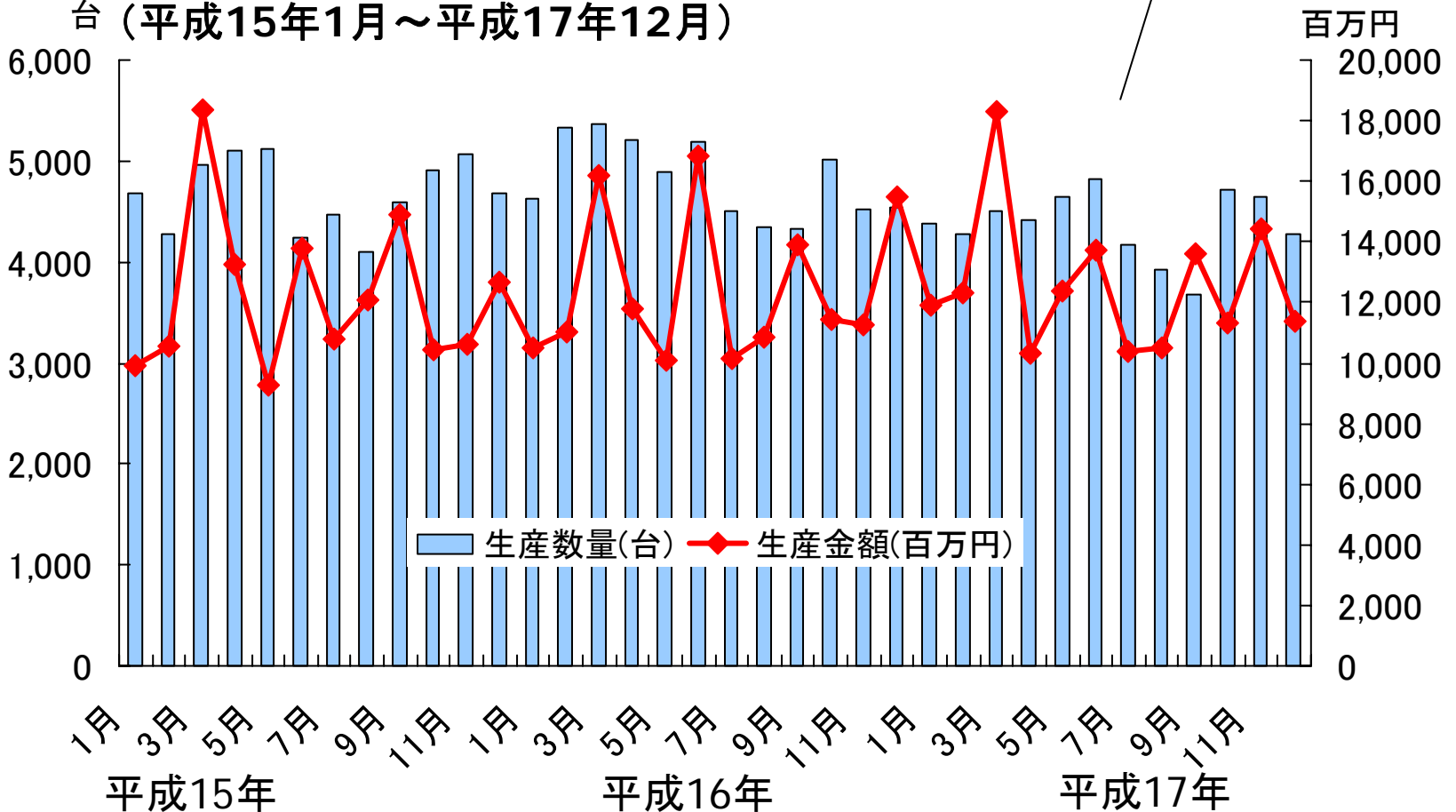
- I . 業界動向
- II . 2006年1月中間期決算概況
- III . 2006年7月期通期業績見通し
- IV . 中期経営計画と今後の取組み
- V . 参考資料

# 業界動向

経産省 機械統計確報

「包装機械及び荷造機械の生産台数及び生産金額推移」

台 (平成15年1月～平成17年12月)



生産金額  
17年計  
前年比2%増

# 市場の見通し

- ・ユーザー業界の設備投資は、業種間・企業間格差が大きく、二極化の傾向が強まる
- ・中小企業を中心に設備投資意欲は、なお慎重姿勢が続いている
- ・好調な企業業績を背景とした積極的な設備投資の増加が期待できる
- ・高機能、高品質の包装を必要とするマーケットは増加傾向にある

---

# *II. 2006年1月中間期 決算概況*

# 2006年1月中間期決算のポイント

## ■ 増収・増益

- 主に、低価格機種種の減少で、販売台数全体は減少したが、高機能・高価格機種種の販売台数が増加したことにより、増収。  
30百万円以上の高額台数が前年同期5台より、今期14台と大幅増加。
- 当中間期に売上計上が可能な案件の受注が低迷したことと、一部、高額案件の売上計上が下期にずれ込んだ為、当初計画を下回った。
- 総利益は、高粗利益機種種の構成比が増加して、機械の平均粗利率が大幅に増加したことにより、増益。  
(前年同期比+47.6%、計画比+1.1%)
- 販管費は展示会出展費用の発生により増加したものの、当初計画より抑制できたことなどにより、経常利益は前年同期の赤字から黒字へ転換。

# 2006年1月中間期の業績(計画比)

(単位:百万円)

	2006年1月中間期		増減	
	計画	実績	金額	率
売上高	1,800	1,620	△179	△10.0%
売上総利益	504	509	+5	+1.1%
(売上総利益率)	(28.0%)	(31.4%)	—	—
営業利益	39	59	+20	+51.4%
(営業利益率)	(2.2%)	(3.7%)	—	—
経常利益	40	65	+24	+61.9%
(経常利益率)	(2.2%)	(4.0%)	—	—
当期純利益	23	42	+19	+82.6%
(当期純利益率)	(1.3%)	(2.6%)	—	—

# 2006年1月中間期の業績(前期比)

(単位:百万円)

	2005年 1月中間期	2006年 1月中間期	増減	
			金額	率
売上高	1,392	1,620	+227	+16.4%
売上総利益	345	509	+164	+47.6%
(売上総利益率)	(24.8%)	(31.4%)	—	—
営業利益	△23	59	+83	—
(営業利益率)	(△1.7%)	(3.7%)	—	—
経常利益	△19	65	+84	—
(経常利益率)	(△1.4%)	(4.0%)	—	—
当期純利益	△12	42	+55	—
(当期純利益率)	(△0.9%)	(2.6%)	—	—



# 品目別売上内訳

(単位:百万円)

	2005年 1月中間期 実績	2006年 1月中間期 計画	2006年 1月中間期 実績	前年同期比増減	
				金額	率
給袋自動包装機	683	1,046	718	+34	+5.1%
製袋自動包装機	215	112	301	+85	+39.8%
ガス充填自動包装機	71	49	39	△32	△45.3%
包装関連機器等	129	328	184	+55	+43.3%
保守消耗部品その他	292	265	376	+83	+28.5%
合計	1,392	1,800	1,620	+227	+16.4%

# 品目別売上高の増減

**前期比：+227百万円、+16.4%**

全体として販売台数が減少、特に低価格・中小型案件が減少。

・給袋自動包装機：+34百万円

台数は9台減少したものの、高価格機種が増加によりカバー

・製袋自動包装機：+85百万円

30百万円以上の高価格機種の実績が2台から4台へと増加したことにより、平均価格が大幅に増加

・ガス充填自動包装機：△32百万円

低価格機種の構成比が増加し、平均価格が減少

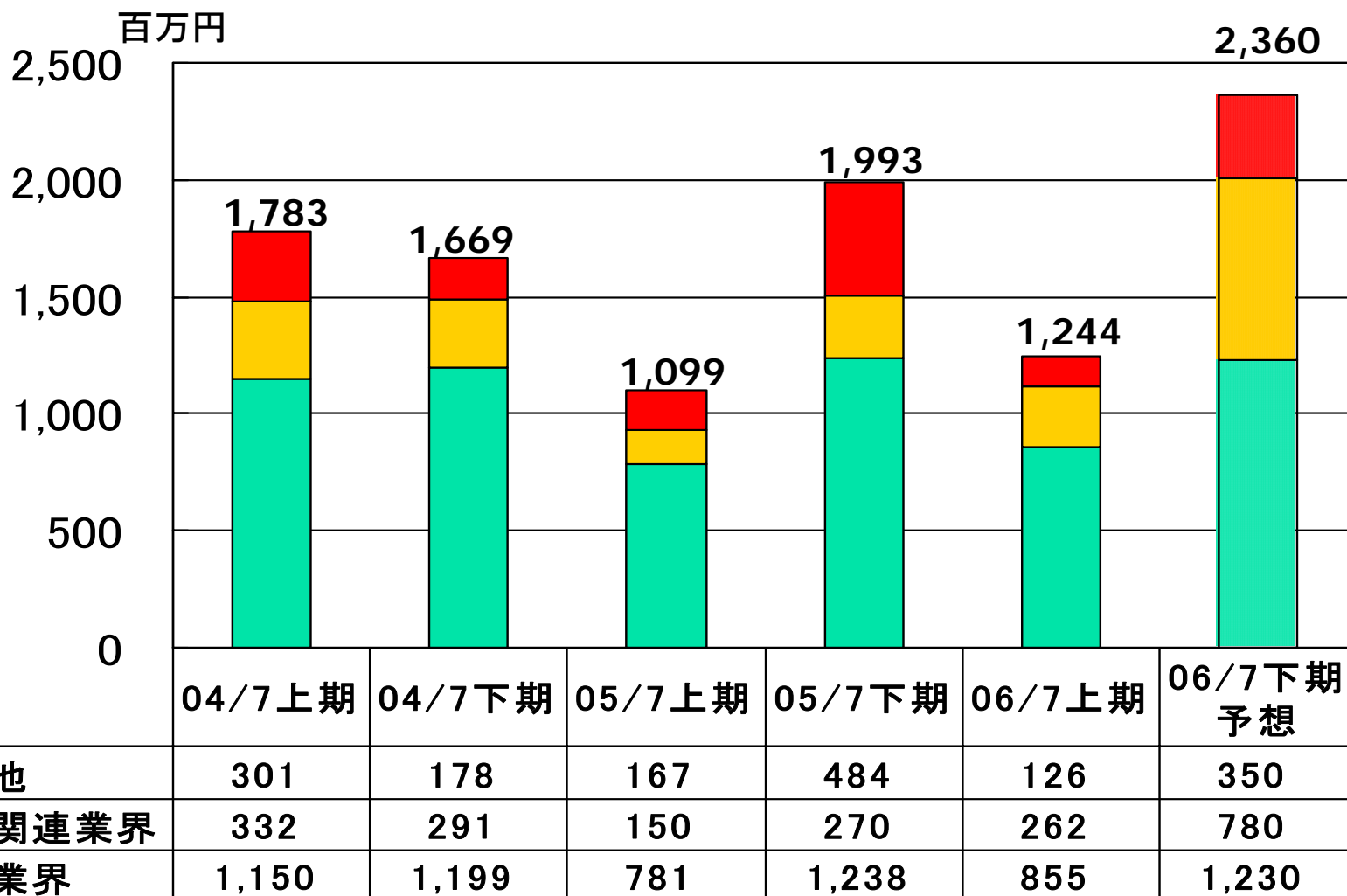
・包装関連機器等：+55百万円

台数は減少したものの、システムで高額案件が増加したことによりカバー

・保守消耗部品その他：+83百万円

高額保守案件の受注件数が増加

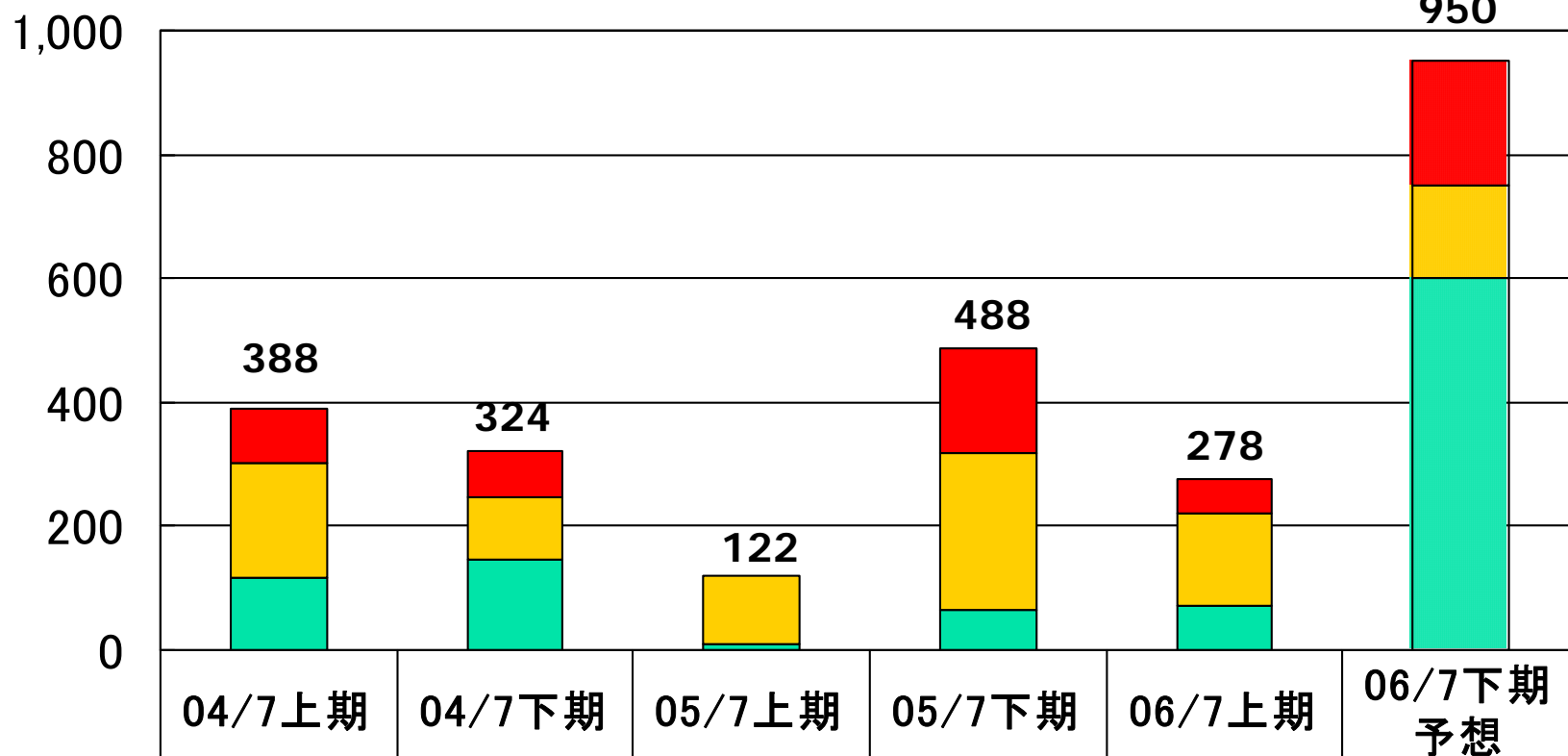
# エンドユーザー業種別売上高



(注)売上高は、機械の売上高のみ

# 重点分野別売上高

百万円

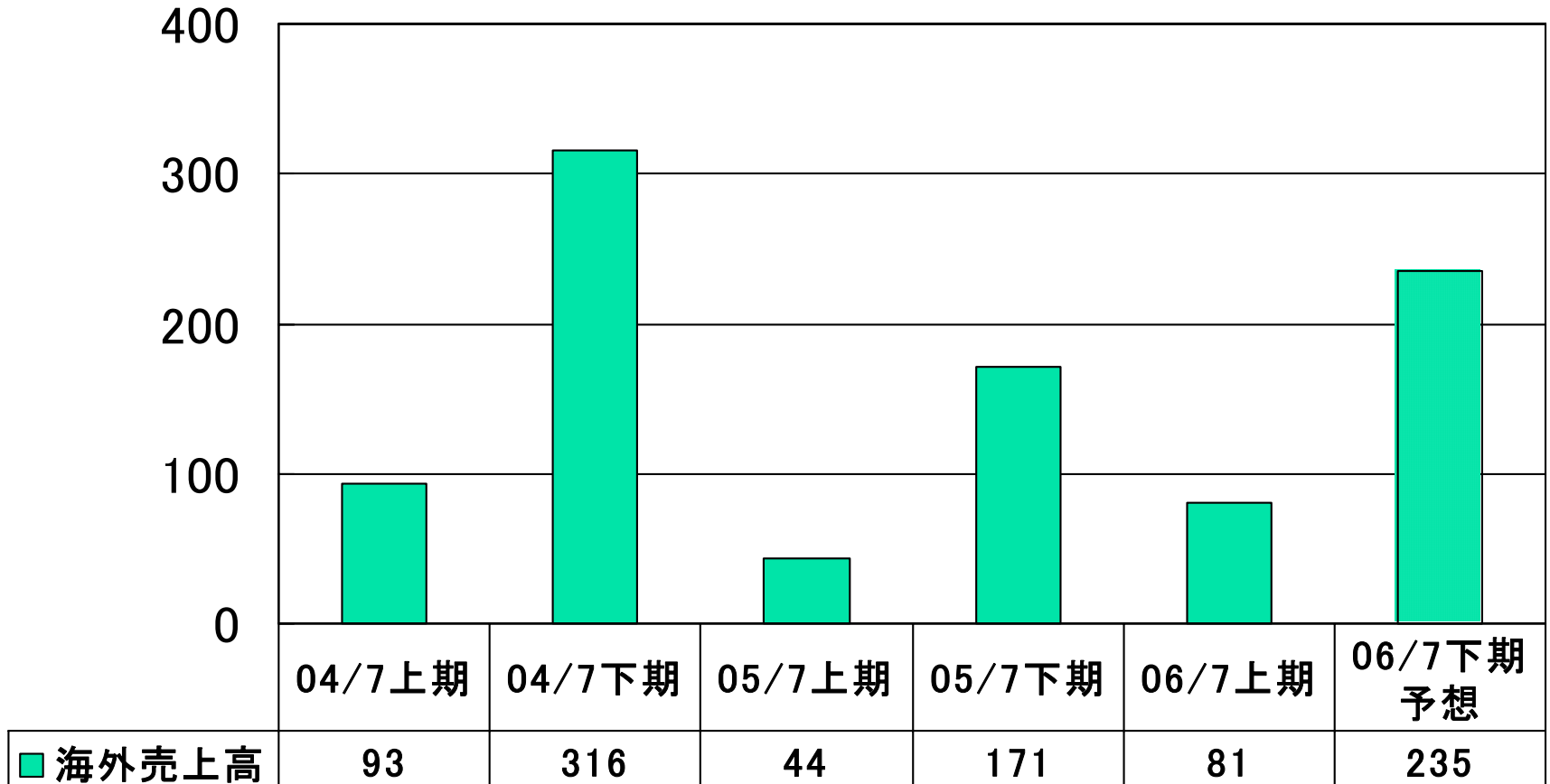


■ ペットフード	85	77	0	170	55	200
■ 健康食品	187	100	112	253	151	150
■ 医療分野	116	146	9	64	71	600

(注)売上高は、機械の売上高のみ

# 海外売上高(エンユーザー)

百万円

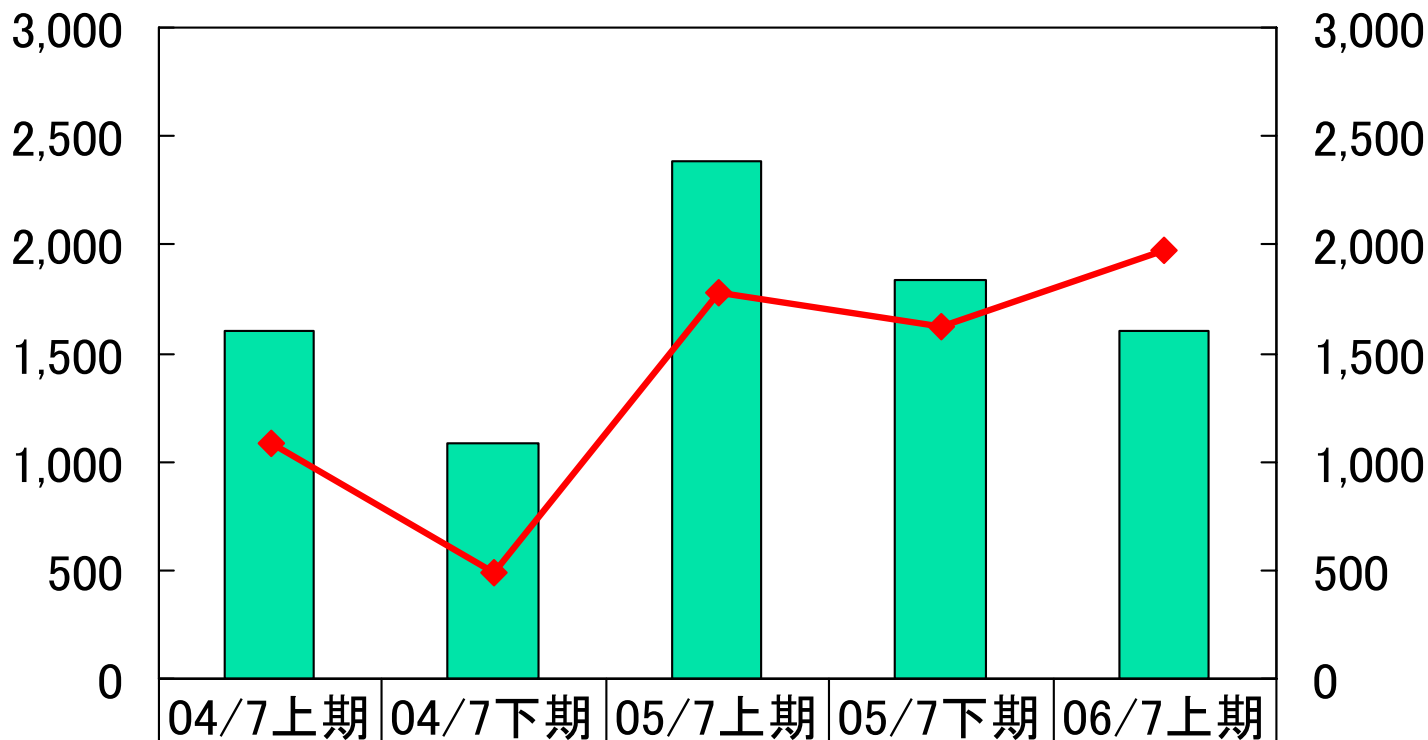


(注)売上高は、機械の売上高のみ

# 機械受注高推移

受注高は、前上期比減少  
受注残高は、前上期比増加

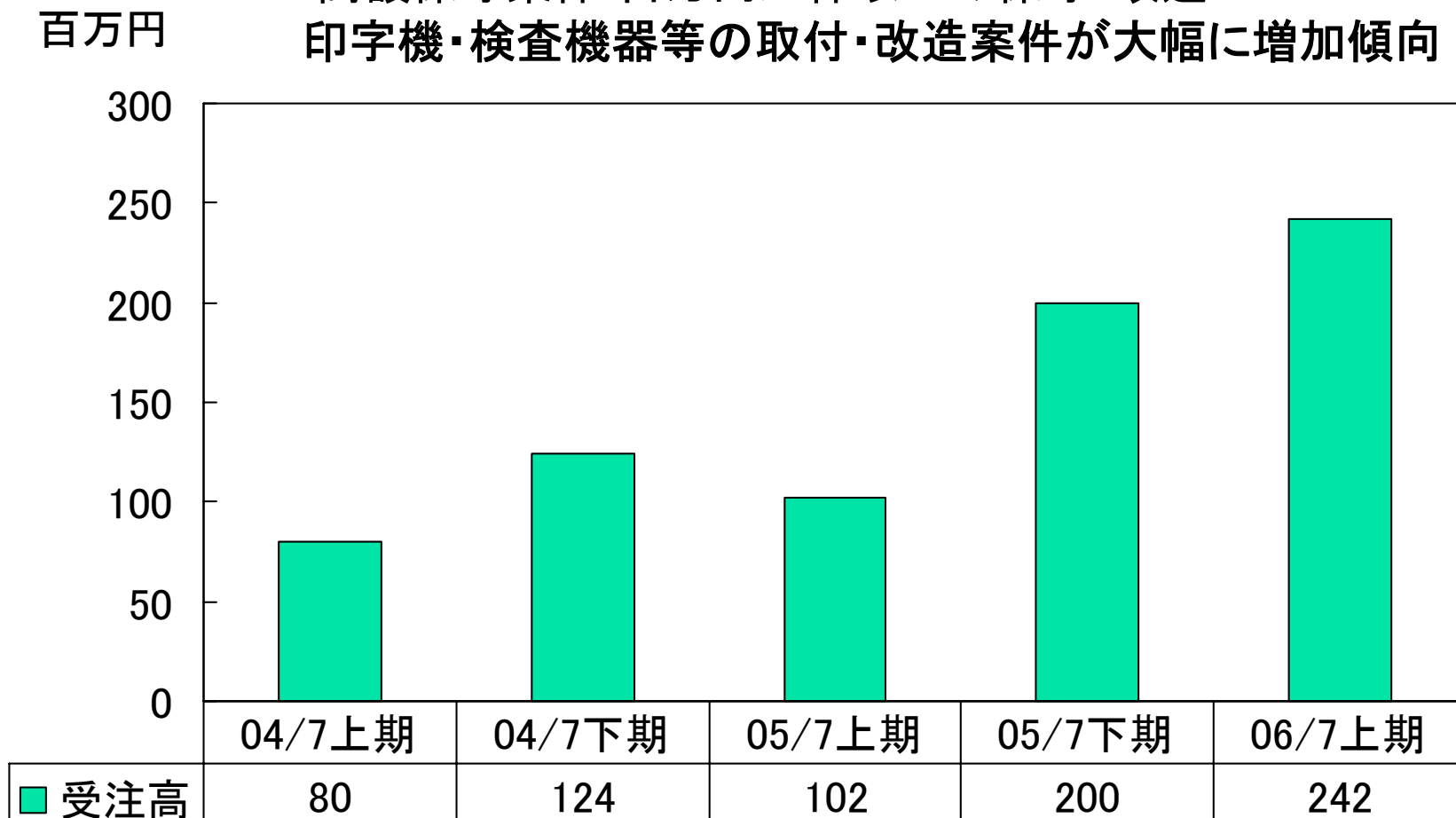
百万円



■ 受注高	1,605	1,080	2,383	1,835	1,598
◆ 期末受注残高	1,082	493	1,777	1,618	1,973

# 高額保守案件の受注高推移

高額保守案件:百万円／件以上の保守・改造  
印字機・検査機器等の取付・改造案件が大幅に増加傾向



注)印字機・検査機等の仕入機器の費用も含む

仕入機器の販売のみの場合は、包装関連機器等に計上

---

# **Ⅲ. 2006年7月期 通期業績見通し**



# 2006/7期通期見通しのポイント

- 増収、増益（通期見通しは変更せず）
  - 上期売上計上予定の高額案件が下期へずれ込み
  - 第3四半期で売上計画ズレをカバー
  - 総利益率は、前期比1.4ポイント改善し28.2%
  - 販管費においては展示会への出展費用、人件費の増加が予想され、売上高販管費率は、前期比1.0ポイント上昇の21.4%
  - 経常利益は、前期比22%増の3億円

# 2006年7月期業績予想

(単位:百万円)

	2005年 7月期実績	2006年 7月期予想	増減	
			金額	率
売上高	3,726	4,300	+573	+15.4%
売上総利益	999	1,214	+214	+21.5%
(売上総利益率)	(26.8%)	(28.2%)	—	—
営業利益	240	294	+53	+22.2%
(営業利益率)	(6.5%)	(6.8%)	—	—
経常利益	245	300	+54	+22.2%
(経常利益率)	(6.6%)	(7.0%)	—	—
当期純利益	152	177	+24	+16.3%
(当期利益率)	(4.1%)	(4.1%)	—	—

# 2006年7月期売上高予想

(単位:百万円、%)

	05/7上期		05/7下期		06/7上期		06/7下期 (予想)	
		売上比		売上比		売上比		売上比
給袋自動包装機	683	49.1	1,171	50.2	718	44.3	1,286	48.0
製袋自動包装機	215	15.5	447	19.2	301	18.6	278	10.4
ガス充填自動包装機	71	5.1	94	4.1	39	2.4	115	4.3
包装関連機器等	129	9.3	280	12.0	184	11.4	680	25.4
保守消耗部品その他	292	21.0	340	14.6	376	23.2	319	11.9
合計	1,392	100.0	2,333	100.0	1,620	100.0	2,680	100.0

---

# *IV. 中期経営計画と 今後の取組み*

# 中期経営計画(2006年7月期～2008年7月期)

## ◆経営ビジョン

1. ドライ物向けのロータリー式自動包装機No. 1企業
2. 知的労働特化型企业
3. 包装システムの市場創造型プランナー

## ◆経営目標 2008年7月期

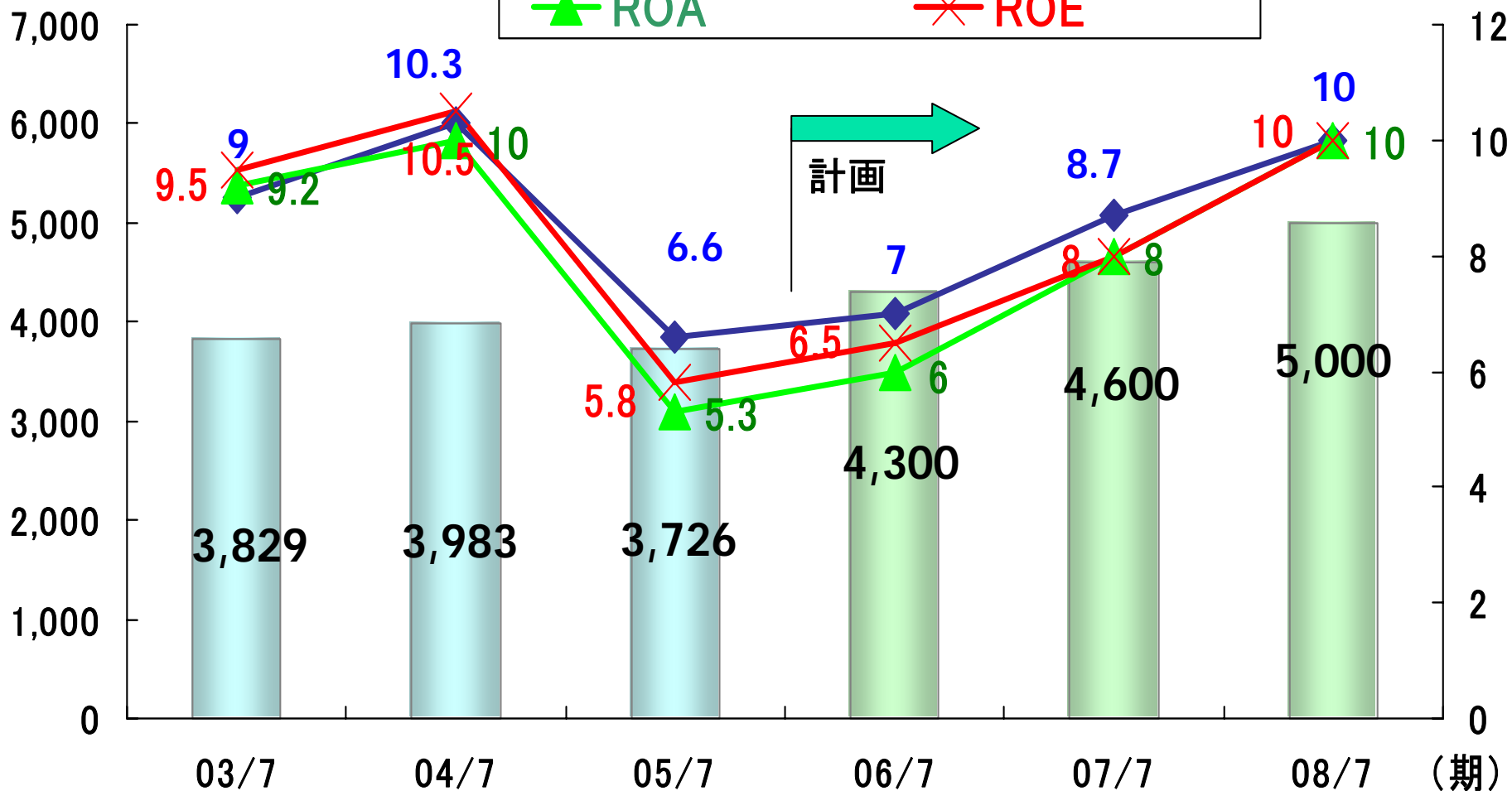
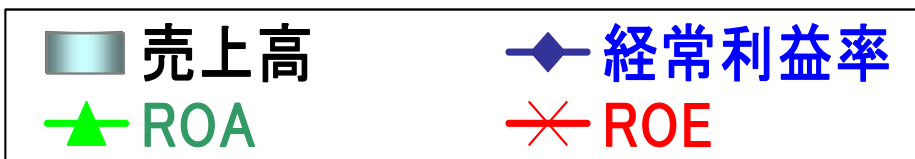
1. 売上高経常利益率 10%以上
2. ROA(総資本経常利益率) 10%以上
3. ROE(株主資本当期純利益率) 10%以上
4. 利益生産性(全従業員一人当たり経常利益) 4百万円以上

## ◆業績目標 2008年7月期

1. 売上高 5,000百万円以上
2. 営業利益 495百万円以上
3. 経常利益 500百万円以上
4. 当期純利益 295百万円以上

# 中期経営目標

(百万円)



# 中期経営目標達成に向けての今後の取組み

1. 中長期的な成長基盤を強化するための戦略的投資等の増加
  - 販売促進投資・研究開発投資・人材投資等
2. 営業体制の強化と海外市場の開拓・販路の拡大
3. チャック付袋対応機種のリニューアル強化と拡販
4. ガス充填システム搭載機種の拡販
5. 重点分野(医療分野・健康食品・ペットフード等)への深耕

# 各取組みの進捗状況と今後の計画

## ① 成長基盤強化のための戦略的投資等の増加

### ■ 展示会を中心とした販売促進活動の強化

#### ■ 業界の大型展示会へ自社出展

- ・2005日本国際包装機械展(05/10月)
- ・2006中部パック(06/4月)

#### ■ 各種展示会への協力参加の拡大

- ・製薬、健康食品業界関連向け  
インターフェックスジャパン2006(06/5月)
- ・中国上海:プロパックチャイナ2006(06/7月)
- ・東京パック2006(06/10月)

等



2006中部パック  
2006.4.12～4.15  
ポートメッセなごや



# 各取組みの進捗状況と今後の計画

## ②営業体制の強化と海外市場の開拓・販路の拡大

### ■東京営業部の強化

- ・中途1名採用:本社で研修後、配属予定

### ■海外市場の開拓

- ・グローバル企業の製造拠点への機械供給とサポートの強化を継続中⇒中期的需要計画に対応
- ・ホームページ等活用による広告活動の強化

### ■国内販路の拡大

- ・エンジニアリング会社、新規窓口等への企業PR活動強化

# 各取組みの進捗状況と今後の計画

## ③チャック付袋対応機種種のラインナップ強化と拡販

■チャック付スタンドパウチ  
対応機種種(STタイプ)

■給袋自動包装機

2000型、2250型、355型、  
700FZ型(06/7期上期追加)

■製袋自動包装機

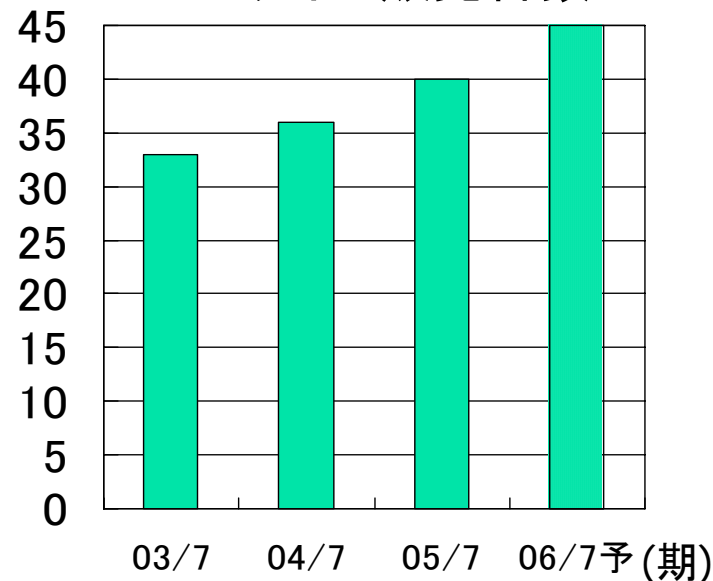
2700C型、355B型(06/7期上期追加)

■チャック付製袋自動包装機

2700C型、6700C型



STタイプ販売台数



## 各取組みの進捗状況と今後の計画

### ④ ガス充填システム搭載機種種の拡販

#### ■ 新機種開発

■ 中袋用機の高速機開発と販売開始(06/4月予定)

#### ■ ガス充填自動包装機(ダブルロータリー)

■ ミニパック用対応機を中心に更新需要が回復基調

#### ■ シングルロータリーガス充填システム

■ 給袋自動包装機・製袋自動包装機

のガス充填システム搭載機種種の拡販

販売台数推移			
03/7期	04/7期	05/7期	06/7期予想
1台	4台	6台	9台

---

# V. 參考資料

# 会社概要(2006年1月31日現在)

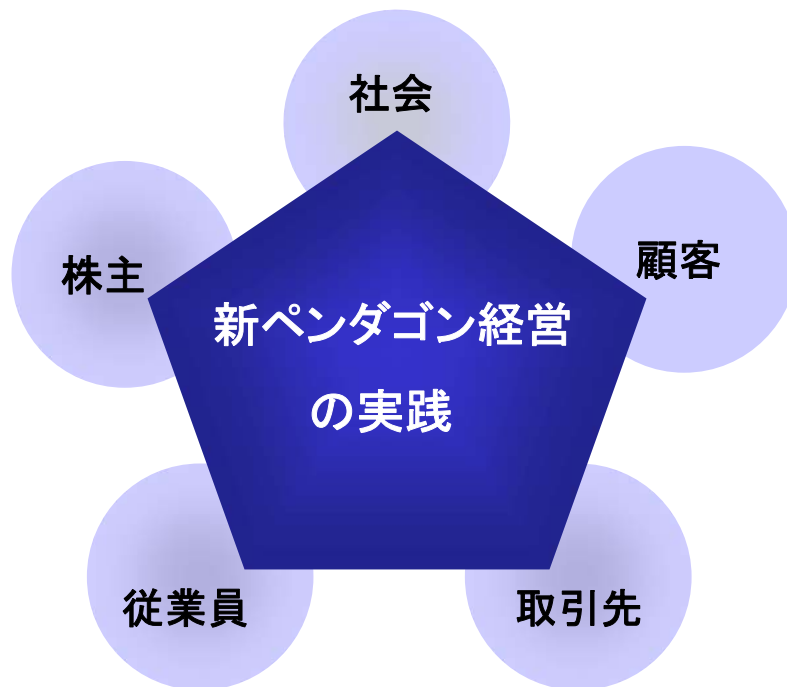
- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 4,497千株
- 売買単位 1,000株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機の製造・販売  
(食品・化学品・健康食品・医療用品等の包装用機械・システム)
- 従業員数 97名(その他臨時雇用者19名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部

# 特徴・用途

品目	主な用途
給袋自動包装機	菓子類、小麦粉、食品類、調味料、ペットフード、健康食品、医療用品、肥料、粉末薬品、電子部品等の袋詰用包装機。 多品種少量生産向け。
製袋自動包装機	充填物は給袋自動包装機と同様。小袋の高速包装から大袋包装まで。フィルムから袋を作りながら包装する機械。
ガス充填自動包装機	花かつお、バターピーナッツ等の袋詰用包装機。
包装関連機器等	付帯機器(充填機、計量機、計数機、印字機等)、段ボールケーサー、各種包装システム等
保守消耗部品その他	当社販売機械の保守、修理・交換用部品、印字機等の取付・改造等

# 企業ビジョン

- 「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現



# 配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、安定配当を堅持しつつ、配当性向30%を目安に、業績動向を見ながら段階的に配当金の増加を図る。

	2004/7期	2005/7期	2006/7期予想
中間配当	4円	6円	6円
期末配当	8円(記念2円)	6円	6円
年間配当	12円	12円	12円
当期純利益／株	49.47円	27.19円	32.70円
配当性向	24.3%	44.1%	36.7%



---

包装システムの市場創造型トータルプランナー  
ゼネラルパッカー株式会社



# 当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川

〒481-8601

愛知県西春日井郡西春町大字字福寺字神明65⇒愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話:0568-23-3111 FAX:0568-22-3222

E-mail: x-hasegawa@general-packer.co.jp

市町村合併により住所が変更となります。

平成18年3月20日より